

A&A インドネシア進出想定ケース

(A&A グループのサービスをフル活用した場合の事例)

● Case3：ジュエリー製造業 P 社

1. 背景事情

P 社は東京や欧米主要都市のセレクトショップにハンドメイドジュエリーを提供するジュエリー工房である。日本など東洋の伝統的なデザインを欧米の最新のファッションスタイルに融合させた独自のコンセプトに特色がある。当初は創業者兼デザイナーが一人で地道に店舗開拓を進めていたが、卸売先の店舗数が増大し、自社サイトからの売上も増大したため、国内で数名パートを雇用した。しかし、それでもなお生産能力が不足して発注に対応しきれなくなった。販売価格を値上げすることで発注量を抑えて当座はしのいだものの、国内での従業員雇用が難航し、生産能力強化と採算性確保とのジレンマを抱えていた。

知人が A&A Professionals のメンバーだったため、悩みを相談したところ、インドネシアには手工芸の伝統があり、ジュエリー製作のサポートに適した人材もインドネシア人には多数いるというので、ジュエリー製作に非常に工数がかかることがボトルネックとなっていた P 社は、インドネシアへの進出を検討するに至った。

2. 事前調査

P 社としては初めての海外進出ということもあり、入念な事前調査を行ったうえで、インドネシア進出への意思決定をしたかった。そこで事前調査として、以下の活動を A&A Professionals に依頼しつつ進めることにした。

(1) 市場・業界調査

かねてからフェアトレード製品に関心の高かった P 社は、インドネシア人にジュエリー製作の一部を委託するに当たり、フェアトレード製品としてのプロデュースと社会権貢献活動を開始したいと考えていた。そのためには、現地の労働者にとって十分に妥当な賃金でありつつ、かつ採算がとれる証拠がほしかった。

そこで、A&A Professionals に以下 3 件の調査を依頼した。

- ・インドネシア国内における委託者候補のプロファイリング
- ・当該プロファイリングに該当する層のパート賃金相場

その結果、相場に若干上乗せした賃金でも採算がとれそうなことが判明した。

3. 進出準備

A&A Professionals に事前調査を進めさせた結果、インドネシア人にジュエリー製作の一部を委託しても採算が取れることが分かった。そこで、P 社は本格的に進出準備を

進めることにした。

また、東洋の伝統的なデザインを欧米の最新のファッションスタイルに融合させる独自のコンセプトをコアバリューとしている P 社としては、これを機に日本の伝統的デザインに加え、インドネシアの伝統的デザインを活用したいと考えた。そこで、インドネシア在住のデザイナーとの提携も進めることにした。そのため、人口の多いジャカルタだけでなく、伝統工芸の盛んなジョグジャカルタとバリも視察することにした。

(1) 現地参入・提携支援

P 社は、インドネシア出張を機に現地の委託者候補と交渉・決定して、進出を一気に果たしたいと考えた。

そこで **A&A Professionals** に以下の業務を依頼し、円滑に交渉が進むようにした。

① 現地パートナー候補の選定

A&A Professionals に依頼し、候補一覧・優先順位・メリット・リスクを呈示してもらった。

・現地パートナー（ジュエリー製作者・提携デザイナー）候補の選定

② 現地パートナー候補との交渉支援

A&A Professionals に依頼し、パートナー候補 4 件とのメールのやりとりを仲介してもらった。

・現地パートナー（ジュエリー製作者・提携デザイナー）候補との交渉支援（4 件）

（注：A&A Professionals では、説明資料翻訳（日英）も別料金で対応可能ですが、ご必要な場合には別途外注することを原則お勧めいたします）

(2) 視察・出張同行

P 社は、社長が直接現地を視察し、パートナー候補と交渉することにした。しかし、インドネシア在住経験者はおらず、現地で協力してくれる知人もいなかったため、P 社だけで視察を行うのは厳しかった。

そこで **A&A Professionals** に以下の業務を依頼し、視察に専念することにした。円滑な視察には現地スタッフが直接対応するだけでは厳しいため、アテンド要員が間に入り、サポートを行った。

① 国際線往復フライト

自身の分も含めフライト確保を依頼した。

- ・国際線往復フライト 2名（社長＋アテンド要員）
- ・国内線往復フライト 2名（社長＋アテンド要員）×2回

② 空港送迎

空港送迎を依頼した。

- ・空港送迎（ジャカルタ）（1台×往復）
- ・空港送迎（ジョグジャカルタ）（1台×往復）
- ・空港送迎（デンパサール）（1台×往復）

③ ホテル宿泊費（ジャカルタ）

自身の分も含めホテル確保を依頼した。

- ・ホテル宿泊費（ジャカルタ）2名（社長＋アテンド要員）
- ・ホテル宿泊費（ジョグジャカルタ）2名（社長＋アテンド要員）
- ・ホテル宿泊費（デンパサール）2名（社長＋アテンド要員）

④ アテンド要員日当

アテンド要員の日当を支払った。

- ・アテンド要員日当（1名×日数）

⑤ 現地車手配（日中）

アテンド要員がホテルにてタクシー等を借り上げた。

- ・現地車手配（日中）（1台×日数）

（注：A&A Professionals では、簡易ビジネス通訳（日英・逐次）、プレゼン代行も別料金で対応可能ですが、ご必要な場合には別途外注することを原則お勧めいたします）

4. 現地法人設立

P社は視察を行った結果、現地で提携できるパートナーが見つかった。しかし、インドネシア側のジュエリー制作委託者やデザイナーとの貿易事務・契約事務を管理しやすくするため、現地法人を設立しようと考えた。

(1) 現地法人設立事務

現地法人設立には、インドネシア当局に各種の申請・登記を行う必要があった。

そこで、現地の専門家と強いネットワークを有する PT. A&A Indonesia Business Consulting (A&A Professionals の関連会社) に A&A Professionals 経由で協力を依頼した。

① 各種申請・登記

登記申請が 2 件必要だと判明した。

・各種申請・登記 (2 件)

② 申請・登記内容翻訳 (日インドネシア)

申請の必要な書類のうち、インドネシア語での提出が必要なものが 1 件あったため、PT. A&A Indonesia Business Consulting に A&A Professionals 経由で翻訳を依頼した。

・申請・登記内容翻訳 (日インドネシア)

③ 申請・登記内容翻訳 (日英：英語 OK の場合)

申請の必要な書類のうち、英語での提出でよいものが 1 件あったため、PT. A&A Indonesia Business Consulting に A&A Professionals 経由で翻訳を別途依頼した。

・申請・登記内容翻訳 (日英)

5. 現地法人運営

P 社はジャカルタに現地法人を無事設立することができた。しかし、P 社は国内のオペレーションで手一杯であり、また語学に堪能で現地従業員を指示できる社員もいなかった。

(1) 現地法人運営事務

まずは貿易事務・契約事務を担当する現地の従業員を採用する必要があった。その他、会計事務・税務処理・企業法務など、国別に事業が異なるので現地の専門家に相談する必要があるが、P 社にはそのためだけに人員を割く余裕はなかった。

そこで、現地の専門家と強いネットワークを有する PT. A&A Indonesia Business Consulting (A&A Professionals の関連会社) に A&A Professionals 経由で運営を依頼した。

① 現地従業員採用

現地法人の貿易事務・契約事務・経理処理を担う人材 (1 名で兼務) につい

ては、人材紹介（ヘッドハンティング）を依頼した。

- ・人材紹介（1名）

（紹介料は採用された人材の年収の 1/3 としております。人材の年収により金額が異なります）

② 会計事務・税務処理・企業法務

月次決算報告など会計業務、申告書作成など税務処理、労働許可の取得・更新など企業法務を、PT. A&A Indonesia Business Consulting にアウトソーシングすることにした。

- ・会計・税務・法務支援（具体的なサポート範囲により金額が異なります）

（注：A&A Professionals、PT. A&A Indonesia Business Consulting では、通訳・翻訳や見本市対応も別料金で対応可能です）